Ⅱ　教育行財政

1　教育委員会の構成

髙橋　勝 教育長

佐野　茂樹 委員
（教育長職務代理者）

花輪　妙子 委員

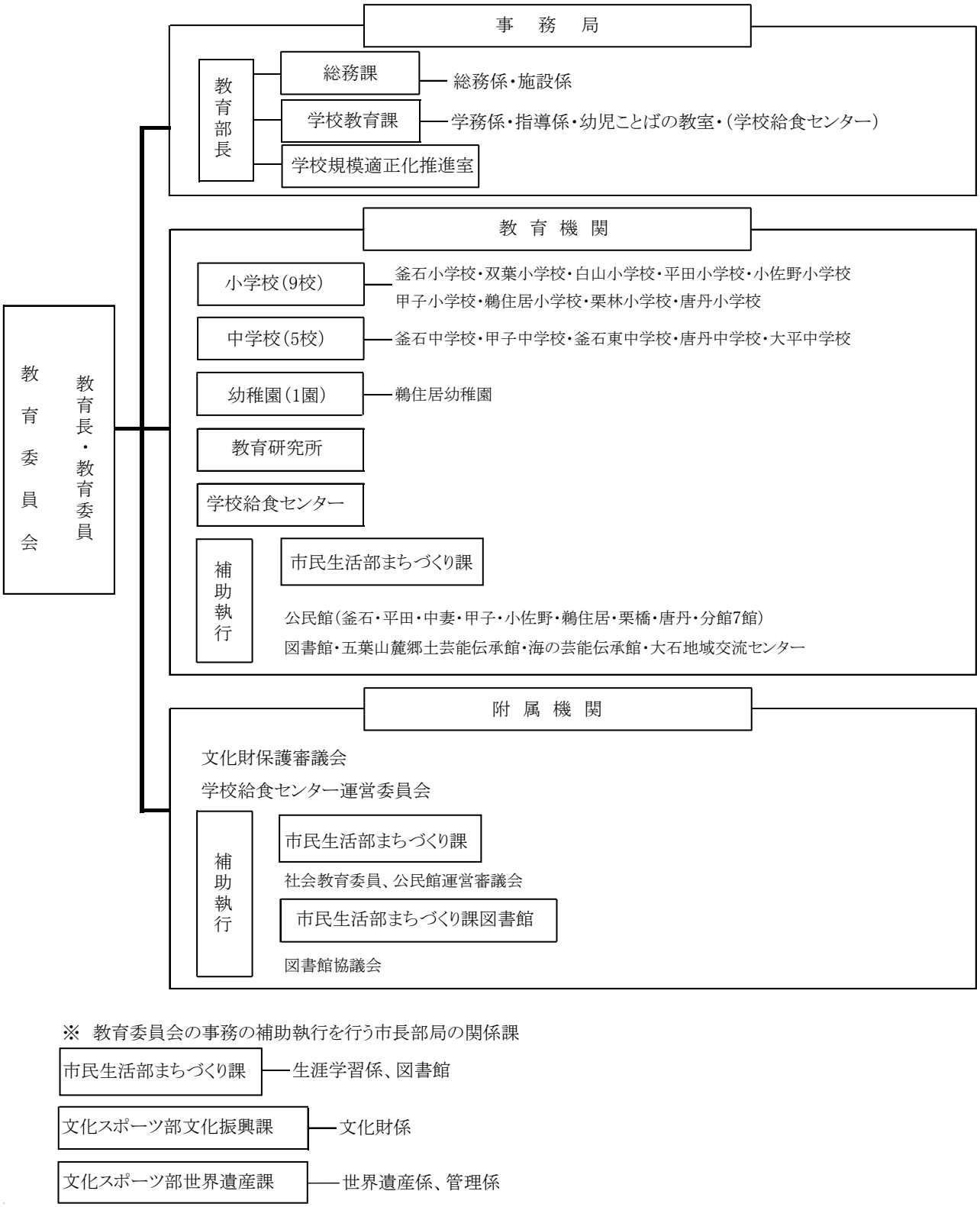
中田　義仁 委員

佐々木 ひづる委員

（令和5年10月1日現在）

職　　名	氏　　名	任　　期	就任年月日
教　育　長	髙　橋　　勝	令和4年10月1日～令和7年9月30日 （2期目）	令和2年4月 1 日
委　　員 （教育長職務代理者）	佐　野　茂　樹	令和3年10月1日～令和7年9月30日	令和3年10月 1 日
委　　員	花　輪　妙　子	令和2年10月1日～令和6年9月30日	令和2年10月 1 日
委　　員	中　田　義　仁	令和4年10月1日～令和8年9月30日	令和4年10月 1 日
委　　員	佐々木　ひづる	令和5年10月1日～令和9年9月30日	令和5年10月 1 日

２　教育委員会機構図（令和5年4月1日現在）



※　教育委員会の事務の補助執行を行う市長部局の関係課

市民生活部まちづくり課 ―― 生涯学習係、図書館

文化スポーツ部文化振興課 ―― 文化財係

文化スポーツ部世界遺産課 ―― 世界遺産係、管理係

3　教育委員会職員数（令和5年4月1日現在）

⑴　教育委員会事務局・教育機関等（学校以外）

区　分	教育長	定数内職員														定数外職員			合計
		部長	課長職		補佐管理職			課長補佐	課付補佐	係長	指導主事	主査	主任・主事等	用務員	計	駐在・派遣	会計年度任用職員	計	
			課長	館長・所長	主幹	所長	館長												
教育長	1														1			0	1
教育部長		1													1			0	1
総務課			1					2	1						4			0	7
総務係										(1)							1	1	
施設係										(1)			1	1	2			0	
学校教育課			1		1										2		4	4	15
学務係										(1)		1	3		4			0	
指導係											1	1			2	2		2	
教育研究所	(1)		(1)								(1)				(3)	(2)	(2)	(4)	(7)
学校給食センター						1				1			2		4	1		1	5
幼児ことばの教室								1							1		1	1	2
学校規模適正化推進室		(1)	1 (2)		(1)			(2)	(1)										1
合計	1	1	3	0	1	1	0	3	1	1	1	2	6	1	22	3	7	10	32

注）カッコ数字は兼務職員数

⑵　学校（学校教育課）

ア　幼稚園　　令和５年５月１日現在

	園長	教諭	小計	教育補助員	合計
鵜住居幼稚園	1	1	2	2	4

イ　小学校　　令和５年５月１日現在

	県費支弁職員数											市費支弁職員数			合計
	校長	副校長	主幹教諭	指導教諭	教諭	指導養護教諭	養護教諭	栄養教諭	講師	事務職員	小計	用務員	特別支援教育支援員	小計	
釜　石	1	1			11		1		1	1	16	1	2	3	19
双　葉	1	1	1		9		1	1	1	1	16	1	2	3	19
白　山	1	1			5		1		0	1	9	1	1	2	11
平　田	1	1			9		1		3	1	16	1	1	2	18
小佐野	1	1	1		16	1	1		4	1	26	2	3	5	31
甲　子	1	1			15		1		2	1	21	2	2	4	25
鵜住居	1	1	1		10		1	1	1	1	17	1	1	2	19
栗　林	1	1			6		1			1	10	1	0	1	11
唐　丹	1	1			8		1		0	1	12	1	1	2	14
合計	9	9	3	0	89	1	9	2	12	9	143	11	13	24	167

ウ　中学校　　令和５年５月１日現在

	県費支弁職員数											市費支弁職員数			合計
	校長	副校長	主幹教諭	指導教諭	教諭	指導養護教諭	養護教諭	栄養教諭	講師	事務職員	小計	用務員	特別支援教育支援員	小計	
釜　石	1	1		2	19		1		2	2	28	2	3 (1)	5	33
甲　子	1	1			14		1		1	1	19	1	2	3	22
釜石東	1	1			9		1			1	13	1	2 (1)	3	16
唐　丹	1	1			5		2		2		11	1		1	12
大　平	1	1			8		1		1	1	13	1		1	14
合計	5	5		2	55		6		6	5	84	6	7 (2)	13	97

注）カッコ数字は学校教育支援員数

４　令和５年度教育行政方針演述（令和５年３月釜石市議会定例会）

令和５年３月釜石市議会定例会の開会にあたり、令和５年度の教育行政方針についてご説明申し上げます。

はじめに

２月６日にトルコとシリア両国において発生した大地震により、お亡くなりなられた方々とそのご家族に心から弔意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

釜石の子どもたちは、新型コロナウイルス感染症感染防止に努めながら、多くの皆様に支えられ学校生活をすごしています。このことに心から感謝申し上げます。

令和４年度は、釜石中学校の男子バスケットボール部が岩手県中学校総合体育大会で初優勝、男子剣道部も準優勝するなど明るい話題がありました。岩手県中学校総合体育大会ラグビーフットボール競技大会では、大会参加校４校のうち市内３校の中学校が特設ラグビー部として参加し、「ラグビーのまち釜石」の取り組みに貢献できたことも成果の一つです。

また、本市出身の小山怜央さんが、プロ棋士編入試験に合格するという快挙があり、釜石の子どもたちに夢と希望を与えてくれました。釜石の子どもたちが、このことを勇気や励みとして、それぞれの未来に進んでいくことを願っています。

新型コロナウイルス感染症につきましては、前年度より感染者が大幅に増え、学級閉鎖や学年閉鎖、学校閉鎖の措置をとった学校があったものの、全ての学校が修学旅行を実施することができました。各学校では、コロナ禍の中でも児童生徒の活動をできる限り保障するよう取り組んでまいりました。令和５年度においては、学校でのマスクの着用を求めないなど国の対策が変わるということですが、換気や手洗いの励行など引き続き、必要な感染対策を行ってまいります。

令和５年度は、「第六次釜石市総合計画」の３年目となります。目指す釜石の将来像「一人ひとりが学び合い世界とつながり未来を創るまちかまいし～多様性を認め合いながらトライし続ける不屈のまち～」の実現、そして、教育文化分野に掲げる「地域と人のつながりの中でみんなが育つまち」の実現に向けて、教育行政を推進してまいります。

未だ終息が見えない新型コロナウイルス感染症への不安や世界情勢の変化に伴う経済への影響、災害発生の恐れなど子どもたちの生活に暗い影を落とす要因もあります。また、不登校児童生徒の増加など子どもたちの心の SOS と捉えるべき課題もあります。

しかし、どのような状況にあっても子どもたちが、元気で明るく健やかに成長でき、夢や希望を育む環境を整えることが教育の役割です。このことを心に留めて、令和５年度の教育行政を推進してまいります。

それでは、第六次釜石市総合計画に掲げる施策を中心に、令和５年度の施策の大要について申し上げます。

１　健やかな成長を図る幼児教育の充実

幼児教育の充実につきましては、令和４年度から岩手県教育委員会の指定を受けております「幼児教育推進モデル指定研究事業」に、令和５年度も引き続き取り組むことを中心に、その充実を図ってまいります。

この事業の推進にあたっては、幼児教育と小学校との円滑な接続と幼児教育における研修の充実を柱として取り組むこととし、岩手県から幼児教育アドバイザーの派遣を受け研修を実施するなど、これまで以上に研修の充実が図られております。

幼児教育は、子どもたちの「生きる力」の基盤をつくるものです。幼児施設を所管する保健福祉部との連携を図りながら、その充実に取り組んでまいります。

２　生きる力を育む学校教育の充実

学校教育の充実につきましては、令和４年度に引き続き、「魅力ある学校づくり」を学校教育推進の中核に位置づけ、「強く生き抜く力の育成」に取り組んでまいります。

学校が、児童生徒にとって魅力あるものになってこそ、子どもたちが意欲的に学び、ますます変化の激しくなるこれからの社会の中で、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら判断して行動できる力、豊かな心、心身のたくましさなどの「強く生き抜く力」を育成することができると考えます。

児童生徒が、魅力ある学校で生き生きと学び、強く生き抜く力を養い、自らの未来を切り拓き、未来を創る力とすることを願い、学校教育の充実を図ってまいります。

（１）　確かな学力の育成

確かな学力の育成につきましては、学習指導要領に掲げる「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力・人間性」の育成に取り組んでまいります。

当市の児童生徒は、知識を活用して問題解決を図るという点に課題が見られることから、各種学力調査などの結果を分析し、組織的に授業改善に取り組んでまいります。

また、タブレット端末を「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学び」に活用してまいります。

（２）　豊かな心の育成

豊かな心の育成につきましては、人と人とのつながりを大切にした温かい人間関係づくりを基盤として、道徳教育や体験活動の充実、優れた芸術や文化に触れることなどあらゆる機会を通して、児童生徒に豊かな心を育んでまいります。

豊かな心を持つことは、どんなに時代や世の中が変わろうと、よりよい社会を築くために大事なことです。学校教育はもちろんのこと、家庭や地域と共に、子どもたちに豊かな心が育まれるよう努めてまいります。

（３）　健やかな体の育成

健やかな体の育成につきましては、新体力・運動能力テストの結果を踏まえた基礎体力の向上と運動への興味・関心を高める指導の工夫など学校体育の充実に努めてまいります。

中学校においては、「釜石市における部活動の在り方に関する方針」に基づく、心身の健康管理に配慮した適切な部活動の運営により、体力の向上と生涯にわたってスポーツに親しむ基礎を培ってまいります。

ICT 機器やデジタルゲーム機器、インターネットの過度の利用による児童生徒の心身への影響が社会的な問題にもなっています。児童生徒への指導とともに、学校での情報端末機器の利用についても、健康面に配慮しながら活用してまいります。

健康教育の推進により、児童生徒が、将来にわたって健康に関心を持ち、自らの健康の保持に努める態度を養ってまいります。

（４）　いのちの教育の推進

いのちの教育の推進につきましては、岩手県津波浸水想定が公表されたことや近年、大雨による災害が増えていることなどにより、「防災教育を核とし、郷土を愛し、自他の命を守るために、主体的に行動することができる力を身につけること」を目指す、当市の「いのちの教育」の推進が、より一層大切になると考えております。

教育委員会では、令和４年度から、津波、土砂災害、洪水を対象とした新たな「防災教育の手引き」の作成に取り組んでいます。令和５年度は、その完成を目指してまいります。

今後も「いのちの教育」の計画的な取組を進めてまいります。

（５）　国際理解教育の充実

国際理解教育につきましては、小中学校を中心に外国語指導助手を派遣して、英語によるコミュニ

ケーション能力の育成を図ってまいります。
　また、他国の文化や習慣を学び、日本との違いに気づくことで、改めて日本の文化や習慣について考えることも大切にしてまいります。
　インターネットを活用した外国の子どもたちとの交流活動も可能な限り実施し、他国の子どもたちとふれ合い、他国の文化を理解する機会としてまいります。

（６）　小学校から高等学校までの系統的なキャリア教育の推進

　キャリア教育の推進につきましては、小学校においては、自分を知り自分の長所を伸ばそうという意識を持たせること、自分と身近な社会や仕事との関わりに気づかせること、　中学校においては、職場体験活動などを通して現実の社会について学ばせること、高等学校等への進路選択を通して、主体的に進路を選択し、決定できる能力を育成することなどに取り組んでまいります。
　高等学校においては、「釜石コンパス」の取組を通して、より勤労観や職業観を深め、進路選択や職業選択、自分の生き方についての視野を広げることが重要であると捉えております。
　キャリア教育の推進に当たっては、キャリア教育に関わる諸活動について、児童生徒が自身の変容や成長を記録し蓄積する、キャリア・パスポートの作成と活用を図るとともに、進級や進学の際に引継ぎを行うことで、継続的なキャリア教育を行ってまいります。

３　地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

（１）　地域との交流の推進

　地域との交流の推進につきましては、児童生徒が地域の方々とふれ合い、地域の方々から生き方や考え方を学ぶことは、大変意義のあることと捉えております。コミュニティ・スクールの取組などを生かし、地域との交流に取り組んでまいります。
　交流を通して、学校と地域がよりよい関係を築き、共に児童生徒を育むことで、児童生徒が、自分と地域とのつながりや関わりを実感し、地域に目を向ける機会にもしてまいります。

（２）　郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む活動

　郷土への誇りと愛着は、児童生徒が、将来、釜石で生活しても、釜石を離れて生活することになったとしても、心の拠り所であり、支えになるものです。
　教育委員会では、郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む取組の１つとして、令和４年度、文化スポーツ部の協力のもと、市内全ての中学校１年生に、旧釜石鉱山跡地を会場として鉄づくり体験を実施しました。また、義務教育９年間の間に、全ての児童生徒が１度は橋野高炉跡の見学を行うこととし、実施しております。これらの活動を、令和５年度も「鉄の学習」として継続してまいります。
　鉄の他にも、各地域の郷土芸能、三陸の豊かな自然、産業、ラグビーの歴史、東日本大震災からの復興などを、児童生徒の学びに活用し、郷土への理解を深め、郷土への誇りと愛着を育んでまいります。

（３）　児童生徒の主体的な活動の推進

　児童生徒の主体的な活動の推進につきましては、釜石市内小中学生で組織する「かまいし絆会議」を児童生徒が、より主体となる活動にするとともに、その取組が、各学校の児童生徒による主体的な活動につながることを意識し、取り組んでまいります。
　また、「かまいし絆会議」の取組が、児童生徒が地域に目を向け、関心をもち、社会参画の意識の醸成につながる活動を目指してまいります。
　加えて、他県の児童生徒との交流活動を通し、他から学ぶことによって、当市の児童生徒の活動が活性化するよう努めてまいります。

（４）　学校給食を生かした食育の推進

　学校給食では、安全安心な給食の提供と、子どもたちが食べることを楽しみ、食べることに関心を持つことにつながる給食の提供を行ってまいります。

学校給食センターでは、釜石産の米やミニトマトのすずこま、ワカメなど地元の農産物及び海産物を学校給食に利用しております。今年度は、かまいしはまゆりサクラマスを学校給食に利用しました。

今後も、学校給食に釜石産の食材を積極的に利用し、食に対する関心を持たせ、栄養教諭を中心に学校と連携しながら、食に関する指導を推進してまいります。

また、学校給食センターでは、今年度、姉妹都市の愛知県東海市や友好都市の富山県朝日町に関係のある食材を用いて、姉妹都市・友好都市交流献立として、学校給食に提供しました。このことも継続し、食に関する関心を持たせる手立ての１つとしてまいります。

なお、子ども・子育て支援として、市内小中学校に３人以上の児童生徒が在籍している家庭について、３人目以降の給食費を無償とすることといたします。

４　教育環境の充実とさらなる向上

（1）　学校施設の適切な維持管理と環境整備

学校施設の維持管理につきましては、児童生徒が安全で安心な学校生活を送ることができるよう、必要な修繕等を行うなど施設や設備等の適切な維持管理と計画的な環境整備に努めてまいります。

学校施設のトイレの洋式化については、令和４年度は、市内３校の体育館トイレの洋式化を実施しました。令和５年度からは、校舎のトイレの洋式化を予算等を勘案しながら、計画的に進めてまいります。

また、特別教室の暑さ対策については、エアコンの設置を検討してまいります。

通学路の安全確保については、関係機関と連携しながら、通学路合同安全点検を実施し、引き続き危険個所の把握と改善に努めてまいります。

（2）　家庭や地域との連携強化

家庭や地域との連携強化につきましては、令和４年度から、市内全ての小中学校においてコミュニティ・スクールを導入し、「地域と共にある学校づくり」を推進しております。

令和４年度は、各学校においてコミュニティ・スクールについての理解を図ることや組織づくり、今後に向けた話し合いが中心となりました。

令和５年度は、コミュニティ・スクールの目的が達せられるよう、学校、家庭、地域で「目指すべき児童生徒像」や「その実現のためのビジョン」を共有し、協働した取組を推進してまいります。

児童生徒の登下校の安全を守るために、引き続き見守り活動を行っているスクールガードなど地域の方々に協力をお願いし、地域と連携した取組としてまいります。

（3）　相談機能の充実

相談機能の充実につきましては、教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒や学校、家庭からの相談にきめ細やかに対応する体制を整えるとともに、支援の充実を図ってまいります。

東日本大震災以降、児童生徒の不安や悩みに寄り添う「児童生徒の心のサポート」に取り組んでまいりました。心のサポートについては、今後も長期的な視点で継続して支援することが必要であることから、スクールカウンセラーを活用し、学校と連携しながら、児童生徒の心のサポートに努めてまいります。

（4）　特別支援教育の充実

特別支援教育につきましては、特別支援学級やことばの教室、LD 等通級教室を設置し、児童生徒の状況に応じた指導を行うとともに、学校生活や学習面で支援が必要な児童生徒の支援のために特別支援教育支援員を配置してまいります。

また、特別支援教育巡回教育相談の実施による児童生徒理解と指導に関する助言、個別の支援計画及び指導計画による個に応じた指導の充実を通じて、きめ細かな支援を行ってまいります。

令和５年度より岩手県立釜石祥雲支援学校に、学校給食を提供することとし準備を進めており、今

後とも岩手県立釜石祥雲支援学校との連携を図ってまいります。

５　生徒指導の充実

生徒指導の充実につきましては、魅力ある学校づくりの推進により、活力ある学校とすることで、互いを尊重し合い、切磋琢磨する意識を醸成し、自己指導力と自己肯定感を育んでまいります。

不登校につきましては、当市の大きな課題であると認識しており、その未然防止として、分かる授業の実施、児童生徒の居場所づくりと絆づくり、教育相談の充実に取り組んでまいります。

不登校の要因は、複雑で多岐にわたっております。スクールカウンセラーが保護者の相談にも応じること、教育委員会内に設置している「わかば教室」の活用、スクールソーシャルワーカーによる家庭への支援、学校や福祉関係機関が連携した取組などにより、不登校の改善を図ってまいります。ICT を活用した支援も検討してまいります。

不登校問題への新たな対応としまして、別室登校の生徒が多い中学校に支援員を配置し、生徒が安心できる居場所づくりを行いながら、不登校の改善を図る取組を検討してまいります。

いじめ問題につきましては、未然防止の取組と早期発見・早期対応が重要です。そのために、一人ひとりの教職員がいじめを見逃さない目を持つこと、児童生徒が困ったときに SOS を出せる環境を整えること、いじめ問題に組織的に対応する体制をつくることを重視してまいります。

令和４年度に重大事案が１件発生したことから、「釜石市いじめ防止基本方針」に基づくいじめ防止の取組を徹底してまいります。

児童生徒への虐待やヤングケアラーの問題への対応につきましては、実態把握を行い学校との情報共有を図り、福祉関係機関と連携しながら児童生徒の安全安心の確保に努めてまいります。

６　校種間連携の推進

幼稚園や保育園、こども園等と小学校との連携につきましては、研修会や釜石市教育研究所での研究事業等を通じて、小学校への円滑な接続が図られるよう努めてまいります。

小中学校の連携につきましては、各中学校区内の小中学校が、目指すべき児童生徒像を共有し、小中学校の教職員の連携や児童生徒の交流なども通しながら、義務教育９年間を見通した教育活動を行ってまいります。

高等学校との連携につきましては、小中学校の活動に高校生も参加してもらうことや、高校生の取組を中学生が知る機会をもつことなど高校との交流の機会を広げてまいります。

７　教職員の働き方改革

教職員の働き方改革につきましては、教育委員会と学校が働き方改革を推進するために、令和５年度から令和７年度の３年間を期限とする「釜石市立学校における教職員の働き方改革プラン」を策定いたしました。このプランをもとに、学校の教職員の時間外在校時間の削減に努め、教職員のワーク・ライフ・バランスを確保し、教職員がやりがいをもって児童生徒の教育に当たり、一人ひとりの児童生徒と向き合う時間を少しでも多く確保できるよう努めてまいります。

教職員の働き方改革の面からも進められることになっている、中学校の休日の部活動の地域移行については、スポーツ及び文化の振興を所管する文化スポーツ部と連携し、関係者による「推進協議会」を設置し、地域移行に向けた課題の整理や協議を行うとともに、国や県の支援策等の動向を注視しながら進めてまいります。

８　学校規模の適正化・適正配置

市内小中学校の学校規模の適正化・適正配置については、「第六次釜石市総合計画」において、「学校規模の適正化・適正配置」を検討していくこととしており、教育委員会では、「釜石市学校規模適正

化検討委員会」を設置し、協議を行ってまいりました。検討委員会からは、11 月に提言書を受け取りました。教育委員会としましては、今後、児童生徒数の減少により、一層小規模校化が進む中では、児童生徒にとって望ましい教育環境の整備を学校規模の観点から考えるとき、学校規模の適正化・適正配置は必要であると考えます。

教育委員会では、提言を踏まえ「釜石市立小中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針」を策定しているところであり、今後、策定した基本方針を示し、具体的な計画を検討してまいります。

以上、令和５年度の施策の大要について、述べました。

教育委員会といたしましては、「教育は人をつくり、未来を創る」ということを教育行政推進の根幹に据えて、令和５年度も「第六次釜石市総合計画」及び「釜石市教育大綱」に基づき、教育振興施策に取り組んでまいります。

子どもたちを取り巻く状況には様々な問題や課題があります。その解決のためには、これまで以上に、議員の皆様、市民の皆様、保護者の皆様のご理解とご協力が必要です。
今後とも、議員各位と市民の皆様、保護者の皆様の深いご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げ、教育行政方針といたします。

５　教 育 財 政

⑴　一般会計予算額と教育費の推移

（単位：千円、％）

年度	当初予算額			決算額		
	一般会計	教育費	比率	一般会計	教育費	比率
平成21	16,550,000	1,335,594	8.1	17,919,417	1,597,741	8.9
平成22	16,242,000	1,419,841	8.7	16,982,792	1,420,563	8.4
平成23	17,200,000	1,605,623	9.3	47,655,343	1,422,894	3.0
平成24	38,290,000	1,405,378	3.7	108,314,610	2,067,698	1.9
平成25	85,455,000	1,435,289	1.7	75,635,534	1,367,574	1.8
平成26	108,000,000	2,200,064	2.0	80,339,616	1,998,525	2.5
平成27	103,126,000	2,074,115	2.0	69,665,425	2,299,924	3.3
平成28	75,754,000	2,740,204	3.6	72,040,829	1,944,832	2.7
平成29	64,585,000	3,052,176	4.0	67,107,773	3,415,591	5.1
平成30	50,320,000	2,491,416	5.0	53,678,390	3,069,075	5.7
令和元年	44,757,000	4,087,898	9.1	53,346,455	4,529,628	8.5
令和2年	27,987,000	1,906,243	6.8	41,305,337	1,878,227	4.5
令和3年	20,487,000	1,702,742	8.3	23,553,020	1,660,570	7.1
令和4年	19,823,000	1,649,711	8.3	21,754,713	1,671,162	7.6
令和5年	20,652,000	2,044,312	9.9	－	－	－

⑵　教育費予算構成の累年比較

（単位：千円）

年度	教育費総額	教育総務費	小学校費	中学校費	幼稚園費	社会教育費	保健体育費
平成21	1,335,594	231,897	194,242	103,116	175,489	253,559	377,291
平成22	1,419,841	252,504	253,076	117,802	160,584	271,597	364,278
平成23	1,605,623	233,272	381,189	114,009	160,868	286,017	430,268
平成24	1,405,378	199,682	182,348	131,499	186,197	211,846	493,806
平成25	1,435,289	201,577	247,618	145,457	129,713	202,159	508,765
平成26	2,200,064	203,740	661,417	150,164	402,060	246,915	535,768
平成27	2,074,115	241,915	296,998	198,431	180,490	355,922	800,359
平成28	2,740,204	246,763	190,912	155,954	71,593	240,696	1,834,286
平成29	3,052,176	262,299	419,749	140,420	71,869	400,765	1,757,074
平成30	2,491,416	263,700	213,431	163,891	62,744	435,480	1,352,170
令和元年	4,087,898	241,360	244,402	151,039	26,440	377,084	3,047,573
令和2年	1,906,243	314,704	341,657	170,365	13,467	366,869	699,181
令和3年	1,702,742	348,558	226,365	134,323	23,383	320,648	649,465
令和4年	1,649,711	360,024	206,722	151,781	18,320	353,294	559,570
令和5年	2,044,312	333,764	259,694	369,825	19,407	452,094	609,528

⑶　令和５年度の主な事業

ア　当初予算

◆ かまいし絆会議運営事業　　５７２千円

釜石の未来を担う市内の児童生徒が、自分たちの学校や地域の生活をよりよくするために何ができるかを考え、将来の釜石市をつくるリーダーとなれる力を身に付けていくため、かまいし絆会議として様々な活動を行うものです。

≪事業内容≫

○　各学校消耗品購入費、会場等使用料

◆ 特別支援教育支援員配置事業　　４６，９９５千円

LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥・多動性障がい）、高機能自閉症等や身体的な障がいをもつ児童生徒の学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う特別支援教育支援員を小中学校へ配置し、障がいによる困難を克服するための教育の充実を図るものです。

≪事業内容≫

○　配置人員　　19人

◆ かまいしコミュニティスクール推進事業　　２，１００千円

当市の鉄の歴史や風土、伝統、有形無形の財産を活用して郷土理解を深めるとともに、郷土の誇りや愛着を育てるための活動、地域の人材の活用をはじめとする地域との協働活動など学校の自主的な活動に対して助成するものです。

≪事業内容≫

○　交付額　　1校あたり150千円（小学校9校、中学校5校）

◆　こころのケア事業　　３，７１４千円

東日本大震災に起因するストレスによって自分自身や周囲も気付きにくい心身の細やかな変化が現れており適切な対処が必要なことから、ストレス障がいなどを早期に把握するなどきめ細かなケアを継続的に行うためスクールソーシャルワーカーを配置するものです。

≪事業内容≫

○　配置人員　　1人

◆　防災教育・復興教育推進事業　　３，６３８千円

岩手県教育委員会による「いわての復興教育」プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の3つの教育的価値を関連付けた教育活動を推進し、郷土を愛し、その復興・発展　を支える人材を育成するものです。

≪事業内容≫

○　震災学習列車活用スクール　　釜石中学校、釜石東中学校

○　いわての復興教育スクール　　釜石中学校、釜石東中学校、唐丹中学校

○　交流学習スクール　　唐丹中学校

◆　ＩＣＴ支援員配置事業　　２，９５３千円

急速に進む学校のICT化により環境が大きく変わる学校現場の負担を軽減し、ICT環境が児童生徒の学びのためにより有効に活用されるよう、日常的な教員のICT活用を支援するICT支援員を配置するものです。

≪事業内容≫

○　配置人数　　2人

◆　学校適応支援員配置事業【新規】　　５，２１１千円

不登校対策が喫緊の教育課題となっていることを踏まえ、別室登校となっている児童生徒や長期欠席児童生徒の教育機会の確保及び状況の改善の支援のため、学校適応支援員を配置するものです。

≪事業内容≫

○　配置人数　　2人

（教育費・10款１項３目／学校教育課）

◆　学校環境整備事業（小学校費）　　７，１５０千円

校内放送及び災害時等の非常放送を確実に行えるよう、市内小学校の老朽化した放送設備を改修するものです。

≪事業内容≫

○　小佐野小学校　放送設備改修工事一式

◆　学校空調整備事業（小学校費）　　８，４７０千円

児童の熱中症対策及び学習環境改善のため、市内小学校の特別教室にエアコンを設置するものです。

≪事業内容≫

○　甲子小学校　空調整備工事

◆ 学校施設トイレ洋式化事業（小学校費）　　２，４２０千円

児童の快適な教育環境の向上を図るため、校舎内の既存の和式トイレを洋式トイレに改修するものです。

≪事業内容≫

○　トイレ洋式化工事設計業務委託（平田小学校、甲子小学校）

（教育費・10款２項１目／教育委員会総務課）

◆ 教材備品等管理費（小学校費）　　５，５５９千円

学習指導要領に基づいた教育課程の実施のため、標準的に必要となる教材備品や大型備品などを計画的に整備し、教育環境の充実を図るものです。

≪事業内容≫

○　教材備品、大型備品購入（小学校9校）

○　グランドピアノ購入（平田小学校）

（教育費・10款２項２目／学校教育課）

◆ 旧小佐野中学校解体事業　　２０３，４２７千円

老朽化が著しい旧小佐野中学校の校舎及び屋内運動場等を解体し、地域の安全を確保するものです。

≪事業内容≫

○　解体工事一式　　201,469千円

○　工事監理委託料　　1,958千円

◆ 学校環境整備事業（中学校費）　　１５，４００千円

市内中学校の校舎について、生徒が安全・安心に利用できるよう施設の長寿命化を勘案しながら、計画的に改修を行うものです。

≪事業内容≫

○　甲子中学校　校舎改修設計委託料

◆ 学校空調整備事業（中学校費）　　８，４７０千円

生徒の熱中症対策及び学習環境改善のため、市内中学校の特別教室にエアコンを設置するものです。

≪事業内容≫

○　大平中学校　空調整備工事

◆ 学校施設トイレ洋式化事業（中学校費）　　１，２１０千円

生徒の快適な教育環境の向上を図るため、校舎内の既存の和式トイレを洋式トイレに改修するものです。

≪事業内容≫

○　トイレ洋式化工事設計業務委託

・　甲子中学校

（教育費・10款３項１目／教育委員会総務課）

◆ **放課後子ども教室推進事業　　３，１７８千円**

行政等との連絡調整や活動プログラムの企画等を行う協働活動支援員及び子どもの活動の見守りや学習サポートを行う協働活動サポーターを配置のもと、放課後等における安心安全な子どもたちの活動拠点を設け、自由遊びのほか様々な学習機会（放課後学習、体験活動、異学年交流等）を提供するものです。

≪事業内容≫

○　実施場所　公民館、集会所、学校内施設、復興公営住宅集会室等
　　6教室（7小学校区）

◆ **地域学校協働活動体制推進事業　　７，２４４千円**

地域と学校が連携、協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく地域学校協働活動の推進体制（地域学校協働本部）を設置し、地域と学校の連絡調整等を行う地域コーディネーターの配置のもと、地域住民等の参画を得ながら、学校支援活動をはじめとする様々な地域学校協働活動を行うものです。

≪事業内容≫

○　地域学校協働本部設置校
　釜石小学校、双葉小学校、白山小学校、平田小学校、小佐野小学校、甲子小学校、鵜住居小学校、栗林小学校、唐丹小学校

○　地域学校協働本部設置予定校
　釜石中学校、甲子中学校、釜石東中学校、唐丹中学校、大平中学校

（教育費・10款６項１目／まちづくり課）

◆ **文化芸術振興事業　　６，１００千円**

市民誰もが文化芸術に触れる機会を提供するとともに、文化芸術団体等の活動を支援し、市民の心豊かな生活の実現を目指すものです。

≪事業内容≫

○　釜石市民芸術文化祭開催事業補助金　　1,200千円
○　伝統文化子ども教室事業補助金　　200千円
○　文化芸術振興事業補助金　　3,600千円　　等

（教育費・10款６項１目／文化振興課）

◆ **グローバル人材育成事業　　１０，５６８千円**

グローバル人材の育成を目的として、外国語講座やイングリッシュキャンプへの参加、中学生海外体験学習事業を行うものです。

≪事業内容≫

○　中学生海外体験学習事業経費　　10,427千円　　等

（教育費・10款６項１目／国際交流課）

◆ **埋蔵文化財保存事業　　８，９１３千円**

埋蔵文化財の保護を目的として、遺跡の詳細分布調査や個人住宅の建設工事や各種開発事業に伴う試掘確認調査を実施するものです。

≪事業内容≫

○　縄文時代前期の遺跡の詳細分布調査
○　個人住宅の建設工事や各種開発事業に伴う試掘確認調査

◆ **歴史はっけん事業　　３，７３６千円**

市内に埋もれた歴史や文化財を発見または再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えるとともに、歴史や文化財を将来のまちづくりへ活用していくため、釜石市文化財保存活用地域計画を策定するものです。

≪事業内容≫

○　釜石市文化財保存活用地域計画協議会の開催
○　市内文化財の調査
○　郷土史に関する講演会の開催

◆ **鉄づくり体験事業　　２，０１１千円**

近代製鉄発祥の地である当市の歴史への理解を深め、「ものづくりの精神」を伝えるとともに、郷土を愛する人材の育成を図るため、子どもたちを対象にした鉄づくり体験や、鉄の週間に合わせた鉄の検定を実施するものです。

≪事業内容≫

○　市内の中学1年生を対象とした鉄づくり体験の実施
○　鉄の検定の実施

◆ **屋形貝塚保存活用事業　　９，７８５千円**

貝塚を伴う縄文時代の集落跡である「国史跡屋形遺跡」を、保存・活用していくための取組みを進めるものです。

≪事業内容≫

○　釜石市屋形遺跡整備検討委員会の開催
○　遺跡の内容確認発掘調査

（教育費・10款６項５目／文化振興課）

◆ **橋野高炉跡整備事業　　３８，０３４千円**

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の保全と活用を推進するため、「橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画」に基づき、採掘場跡及び運搬路跡も含めた史跡整備のための調査を行うものです。

≪事業内容≫

○　史跡整備検討委員会の開催（2回）　　134千円
○　範囲内容確認調査委託料　　32,018千円
（発掘調査補助委託料、測量調査委託料、出土遺物保存処理委託料、遺物整理委託料、自然科学分析委託料）　　等

◆ **橋野高炉跡修復・公開活用事業　　２６，３９４千円**

世界遺産・橋野鉄鉱山を適切に保存・修復し、後世に残していくとともに橋野鉄鉱山に関する理解増進を図る必要があることから、石垣の修復を行うものです。

≪事業内容≫

○　石垣測量調査委託料　　13,210千円
○　石垣修復工事　　13,169千円　　等

◆ **橋野鉄鉱山事業　　７，３２７千円**

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の周知と公開に向け

た取組を行うものです。

≪事業内容≫

○　周知啓発用ポスター・チラシの印刷　500千円
○　観光ガイド委託料　800千円
○　環境整備委託料　1,100千円
○　バス借上料　500千円
○　「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会負担金　2,112千円　等

（教育費・10款６項５目／世界遺産課）

◆ スポーツ振興事業　６，０６１千円

釜石市体育協会と連携を図り、生涯スポーツの振興や競技スポーツの競技力の向上を推進するとともに、東海市、袋井市、朝日町において、スポーツを通じ相互関係を一層深める継続的な交流事業を展開するものです。

≪事業内容≫

○　全国ビーチボール競技大会経費　554千円
○　友好都市ラグビー交流事業委託料　1,500千円
○　釜石市体育協会事業補助金　4,000千円　等

◆ 各種大会等助成事業　６，０００千円

市内で開催する各種スポーツ大会に対して助成を行うことで交流人口の拡大を図り、市内活性化を図るものです。

≪事業内容≫

○　かまいし仙人峠マラソン大会実行委員会負担金　3,800千円
○　釜石市トライアスロン協会事業補助金　1,000千円
○　釜石オープンウォータースイミング大会事業補助金　600千円
○　各種スポーツ大会等開催補助金（12競技）　600千円

◆ ラグビーによる人材育成事業　９３８千円

当市が誇る「ラグビー」という地域資源を活用し、児童生徒らがラグビーの魅力や楽しさに触れながら、心身の健康増進、体力向上、ラグビー精神を身に付けた将来を担う人材の育成を図るものです。

≪事業内容≫

○　「ラグビーのまち釜石」教室の開催

◆特別国民体育大会東北ブロック大会等支援事業【新規】　１，２００千円

令和5年度に岩手県にて開催予定である国民体育大会東北ブロック大会兼第50回東北総合体育大会において、各種競技が県内で分散開催されることから、ラグビーワールドカップ2019日本大会や、2020年高総体ボクシング競技の開催実績を踏まえ、ラグビーフットボール競技成年男女・ボクシング競技を当市で開催するものです。

≪事業内容≫

○　競技団体補助金　200千円
○　会場使用料　720千円
○　需用費　280千円

◆ **かまいしラグビーレガシー継承事業　　２，７０９千円**

ラグビーワールドカップのレガシーである多くのボランティアとの絆と、このつながりの維持と交流拡大を実施するため設立された「釜石ラグビー応援団」への運営補助を行いながら、市が行うラグビーを活用したまちづくりへの民間側での活動展開を支援するものです。

≪事業内容≫

○　釜石ラグビー応援団運営補助金　　1,500千円

○　釜石ラグビー応援団映像配信事業補助金　　1,000千円　　等

◆ **ラグビーメモリアルイベント開催事業　　８，８９６千円**

ラグビーワールドカップのレガシーを継承し、「ラグビーのまち釜石」の定着及び情報発信を行うとともに、ラグビーの価値を再認識しながら市民が未来への希望を紡ぐ機会とするため、ラグビーイベントを開催するものです。

≪事業内容≫

○　開催時期　　令和5年9月～10月（予定）

○　開催場所　　釜石鵜住居復興スタジアム　ほか

○　内　　容　　釜石ラグビッグドリーム事業補助金　　6,000千円

釜石絆の日開催事業補助金　　2,500千円　　等

◆ **スポーツ合宿誘致推進事業　　５，６３２千円**

釜石鵜住居復興スタジアムや根浜海岸多目的広場、市民体育館等当市のスポーツ施設を活用し、団体スポーツ合宿を誘致することにより、スポーツ振興を図るとともに、スポーツツーリズムの推進につなげるものです。

≪事業内容≫

○スポーツ合宿事業費補助金　　3,500千円

・　補助対象者：市外のスポーツ団体

・　補助対象経費：交通費（限度額25万円以内）、宿泊費（限度額10万円以内）

○　備品購入費（トレーニング機材）　　2,000千円　　等

◆ **日本代表等釜石合宿おもてなし事業　　１，０００千円**

ラグビー日本代表等の合宿を当市に誘致開催し、子どもたちとその関係者らが代表選手とのラグビー教室等で交流するほか、代表選手の練習風景等を広く市民に公開するとともに、市内では各種ボランティア関係者を巻き込んでのおもてなしの装飾や歓迎イベントを開催することで、ラグビーの聖地としての釜石ならではの学びの空間を創出するものです。

≪事業内容≫

○　子どもたちとの交流事業、おもてなしイベントの開催　　等

（教育費・10款７項１目／スポーツ推進課）

◆ **厨房備品更新事業【新規】　　１６，０００千円**

児童生徒が栄養バランスの良い食習慣を身につけ、食の安全に対する理解を深めることができる学校給食を提供するため、旧学校給食センターから移設した厨房備品を更新するものです。

≪事業内容≫

○　厨房備品（スチームコンベクションオーブン）購入費

◆ **学校給食地産地消推進事業【新規】　　１，９６４千円**

釜石市で生産、又は加工された食材を学校給食に提供するなかで、釜石市の産業を児童生徒にPRし、学ぶきっかけを作りながら、新鮮な食材を使用することで安心安全な学校給食を提供するとともに、地元生産者の活性化に寄与することを目的に、給食食材購入費用の一部を補填するものです。

≪事業内容≫

○　給食物資（釜石はまゆりサクラマス・釜石産米）購入費

◆ **子ども・子育て支援給付事業（給食費の一部無償化事業）【新規】　　５，０００千円**

多子世帯の経済的負担を軽減するため、市内小中学校に就学している第3子以降の児童生徒の給食費を無償化するものです。

≪事業内容≫

○　対象人数　100人（予定）

（教育費・10款７項３目／学校給食センター）

イ　６月補正予算

◆ **旧釜石鉱山事務所国登録有形文化財登録10周年記念事業【新規】　１０，０００千円**

旧釜石鉱山事務所は、平成25年に「国登録有形文化財（建造物）」へ登録され、令和５年度は登録10周年となることから、釜石鉱山坑道のＶＲ動画などデジタルデータを作成し、近代製鉄発祥の地として新たな情報発信を行うものです。

≪事業内容≫

○ 釜石鉱山デジタルデータ作成委託料

（教育費・10款６項５目／世界遺産課）

６　教育委員会附属・関連機関

(1) 釜石市文化財保護審議会

（任　期：令和４年８月23日～令和６年８月22日）

令和５年４月１日現在

番号	職　名	氏　　名	職　　業	委嘱開始年月日
1	会長	川　原　清　文	無職	平成18年５月１日
2	副会長	久　保　知　久	農業	平成16年６月１日
3	委員	松　本　　武	無職	平成15年４月１日
4	委員	山　崎　倫　昭	無職	平成24年１月１日
5	委員	千　葉　愛　子	無職	令和２年４月１日
6	委員	市　川　淳　子	無職	令和２年４月１日
7	委員	瀬　戸　　元	無職	平成21年５月１日
8	委員	藤　井　サエ子	自営業	平成21年５月１日
9	委員	河　東　直　江	宮司	平成24年１月１日
10	委員	鱒　沢　トモ子	無職	令和２年４月１日
11	委員	佐々木　光　壽	自営業	平成17年４月１日
12	委員	藤　原　信　孝	無職	平成24年１月１日
13	委員	加　藤　良　司	無職	平成28年１月１日

番号	職　名	氏　　名	職　　業	委嘱開始年月日
14	委員	千　葉　まき子	無職	令和２年４月１日
15	委員	藤　井　静　子	無職	令和４年８月23日

(2)　釜石市学校給食センター運営委員会　（任期：令和５年７月１日～令和７年６月30日）

令和５年７月１日現在

役職	氏　　名	所　　属	最初の委嘱年月	選出区分
	佐　守　直　人	平田小学校校長	令和５年５月	小学校の校長
委員長	佐　藤　一　成	鵜住居小学校校長	令和５年５月	小学校の校長
	八木澤　江利子	栗林小学校校長	令和５年５月	小学校の校長
副委員長	山　蔭　深　思	甲子中学校校長	令和５年５月	中学校の校長
	八　木　稔　和	唐丹中学校校長	令和５年５月	中学校の校長
副委員長	小　川　興　隆	釜石保健所環境衛生課	令和５年５月	保健所職員
	金　野　宏　美	釜石薬剤師会	平成19年７月	学識経験者
	小　澤　伸之助	釜石小ＰＴＡ会長	令和５年５月	小学校のＰＴＡ会長
	遠　藤　由　佳	白山小ＰＴＡ会長	令和５年５月	小学校のＰＴＡ会長
	谷　藤　太　郎	小佐野小ＰＴＡ会長	令和５年５月	小学校のＰＴＡ会長
	千　葉　　悟	釜石中ＰＴＡ会長	令和４年５月	中学校のＰＴＡ会長
	畑　山　身知子	双葉小学校養護教諭	令和５年５月	その他教育長が指名する者
	山　路　希里穂	甲子小学校養護教諭	令和５年５月	その他教育長が指名する者
	伊　藤　舞　子	大平中学校養護教諭	令和５年５月	その他教育長が指名する者
	藤　井　津佳子	釜石東中学校養護教諭	令和３年７月	その他教育長が指名する者
	外　舘　　悌	釜石祥雲支援学校校長	令和４年５月	その他教育長が指名する者

⑶　釜石市社会教育委員　（任期：令和４年１月１日～令和５年 12 月 31 日）

令和５年７月１日現在

	氏　　名	職　業　・　団　体　等	最初の委嘱年月日	種別
1	及　川　美香子	双葉小学校校長	令和５年５月１日	学校
2	八　木　稔　和	唐丹中学校校長	令和５年５月１日	学校
3	青　木　裕　信	岩手県立釜石高等学校校長	令和４年５月１日	学校
4	山　口　邦　子	釜石商工会議所女性会副会長	平成28年１月１日	社会
5	鈴　木　　繁	釜石市ＰＴＡ連合会顧問	令和４年７月１日	社会
6	石　垣　邦　子	釜石市芸術文化協会前副会長	平成30年１月１日	社会
7	阿　部　信太郎	(一社)釜石青年会議所理事長	令和４年１月１日	社会
8	新　田　佳世子	釜石市ＰＴＡ連合会	令和４年１月１日	家庭
9	吉　田　千　秋	釜石市スポーツ推進委員	平成24年１月１日	社会
10	柴　田　　渥	かまいし女性フォーラム’21代表・主婦	平成８年５月１日	家庭

	氏　　名	職　業　・　団　体　等	最初の委嘱年月日	種別
11	吉　岡　真　美	放課後子ども教室協働活動サポーター	令和元年５月１日	家庭
12	菊　池　　亮	釜石市社会福祉協議会	平成30年１月１日	学識

⑷　釜石市立公民館運営審議会

任期：令和４年１月１日～令和５年12月31日　釜石・甲子・小佐野・鵜住居・栗橋・唐丹
任期：令和４年５月１日～令和６年４月30日　平田
任期：令和５年５月１日～令和７年４月30日　中妻

令和５年５月１日現在

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
釜石公民館	及　川　靖　浩	釜石小学校校長	令和２年４月１日	学
	髙　橋　信　昌	大平中学校校長	令和５年５月１日	学
	柏　木　成一郎	無職	平成30年５月１日	識
	柳　田　三枝子	民生児童委員	平成13年５月１日	社家
	山　崎　義　勝	大只越町内会長	平成30年５月１日	社
	合　澤　洋　子	民生児童委員	令和元年５月１日	社家
	小野寺　しず子	主婦	令和４年５月１日	家

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
平田公民館	佐　守　直　人	平田小学校校長	令和５年５月１日	学
	佐　藤　雅　彦	平田町内会会長	令和２年５月１日	社
	久　保　修　一	社会福祉法人清風会	令和４年５月１日	社
	高　澤　友　子	釜石湾漁業協同組合平田女性部部長	令和４年５月１日	社家
	佐々木　淳　子	釜石湾漁業協同組合白浜浦女性部部長	平成30年５月１日	社家
	福　田　　博	民生児童委員（主任児童委員）	平成30年５月１日	社家
	小　松　美　香	平田こども園園長	令和２年５月１日	学

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
中妻公民館	及　川　美香子	双葉小学校校長	令和３年５月１日	学
	海　藤　祐　子	中妻子供の家保育園園長	令和４年５月１日	社
	村　上　雄　子	ニチニチソウ代表	平成27年５月１日	社
	佐々木　ひろ子	民生児童委員（主任児童委員）	平成27年５月１日	社家
	佐　藤　　力	中妻地区地域会議議長	令和２年８月１日	社
	万城目　千佳代	民生児童委員	令和２年８月１日	社
	小田中　彰　次	上中島Ⅱ期復興公営住宅自治会	令和３年５月１日	社

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
甲子公民館	菊　池　一　章	甲子小学校校長	令和３年５月１日	学
	山　蔭　深　思	甲子中学校校長	令和５年５月１日	学
	安久津　吉　延	松倉町内会	平成９年５月１日	社
	松　田　真　帆	放課後子ども教室協働活動サポーター	平成30年１月１日	家
	坂　本　慶　子	甲子歌う会代表	平成22年12月１日	社
	佐　藤　道　子	民生児童委員	令和５年５月１日	社家
	村　上　幸三郎	大畑町内会事務局長	令和２年１月１日	社

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
小佐野公民館	千　田　有　美	小佐野小学校校長	令和５年５月１日	学
	齊　藤　雅　彦	釜石中学校校長	令和４年５月１日	学
	長谷川　こう子	民生児童委員（主任児童委員）	平成28年１月１日	社家
	木　谷　眞知子	主婦	平成19年８月１日	家
	黒　田　　至	小佐野地域会議議長	平成28年５月１日	社
	松　坂　喜　史	小川町内会前会長	令和２年１月１日	社
	吉　田　千　秋	釜石市スポーツ推進委員	令和２年１月１日	社

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
鵜住居公民館	佐　藤　一　成	鵜住居小学校校長	令和４年５月１日	学
	佃　　拓　生	釜石東中学校校長	令和４年５月１日	学
	小　山　　士	鵜住居町内会	平成24年１月１日	社
	瀬　戸　保　子	主婦	平成26年８月１日	家
	三　浦　紘　子	釜石東部漁業協同組合箱崎女性部長	平成12年５月１日	社家
	澤　本　和　子	主婦	平成25年１月１日	社
	山　口　未　来	釜石大槌地区郷土料理研究会	平成31年４月１日	社

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
栗橋公民館	八木澤　江利子	栗林小学校校長	令和４年５月１日	学
	遠　野　健　一	前栗林共栄会会長	平成19年５月１日	社
	川　崎　悦三郎	民生児童委員	令和４年１月１日	社家
	八　幡　和　郎	沢町内会副会長	令和４年１月１日	社
	川　崎　　通	無職	令和４年１月１日	社
	八　幡　裕　子	能舟木町内会会長	令和２年１月１日	家
	遠　藤　朱　実	自営業	令和２年１月１日	家

	氏　　名	役　職　等	最初の委嘱年月日	種別
唐丹公民館	柏　﨑　裕　之	唐丹小学校校長	令和３年５月１日	学
	八　木　稔　和	唐丹中学校校長	令和３年５月１日	学
	木　村　京　子	民生児童委員	令和元年５月１日	社家
	川　原　清　文	市文化財保護審議会委員	平成19年５月１日	社
	河　東　智　子	民生児童委員（主任児童委員）	平成25年１月１日	社家
	上　村　年　惠	保護司	平成19年５月１日	家
	佐久間　定　樹	健康運動実践指導士	令和２年１月１日	社

※種別：学＝学校教育関係者、社＝社会教育関係者、家＝家庭教育の向上に資する者、識＝学識経験者

⑸ 釜石市立図書館協議会

（任期：令和５年５月１日～令和７年４月30日）

令和５年５月１日現在

役職名	氏　　名	委嘱時期	選出区分
委員長	藤　原　由香里	平成27年５月	社会教育関係者
副委員長	足　立　佐智子	令和元年５月	家庭教育関係者
	野　田　摩理子	平成19年５月	学校教育関係者
	柴　田　　渥	平成29年５月	社会教育関係者
	万城目　千佳代	平成30年５月	社会教育関係者
	村　上　　修	令和３年５月	学識経験者
	市　川　淳　子	令和３年５月	社会教育関係者
	菊　池　一　章	令和３年５月	学校教育関係者
	鈴　木　　崇	令和５年５月	社会教育関係者